

新たな戦略における目標設定と考え方（たたき台）

目標	目標値	設定理由	有識者・経済界等 意見	参考データ		備考
				国の指標	府の指標	
実質成長率	●年平均2%以上	<ul style="list-style-type: none"> コロナの感染拡大は、府民生活全般に影響があり、特に経済は多大なダメージを受けていることから、大阪経済の再生・成長を測る総括的な指標として、経済成長率を設定し、本戦略の進捗を把握していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 大阪経済の再生・成長の観点から、目標として必要な考え方。是非目標設定すべき。 	〔内閣府「中長期の経済財政に関する試算（2020年7月）」〕 <ul style="list-style-type: none"> 成長実現ケース：実質2%程度を上回る成長率 ベースラインケース：実質1%程度を上回る成長率 	〔成長戦略〕 <ul style="list-style-type: none"> 実質成長率2%（2010～2020） 	
内外からの誘客	※「都市魅力創造戦略2025（仮称）」の策定をもって設定	<ul style="list-style-type: none"> 新戦略において、「国内外の観光需要の取込みの強化」を重点分野として位置付けることを踏まえ、内外からの誘客に関する指標を目標として検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 今は、訪日外客数のみを指標としているが、一人当たり消費額増など、質の転換を図るべき。 一人当たりの付加価値を高める目標が必要。 	〔観光庁「観光ビジョン」〕 <ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人旅行者数（2030年） 2020年 4000万人（6000万人） 訪日外国人旅行消費額 2020年 8兆円（15兆円） 国内旅行消費額 2020年 21兆円（22兆円） 	〔都市魅力創造戦略2025（仮称）〕 <ul style="list-style-type: none"> 改訂作業の中で検討中 	
スタートアップ	●創出件数300社（2024年） （うち、大学発輩出件数100社）	<ul style="list-style-type: none"> グローバル拠点都市の選定を受け、スタートアップを成長の柱と位置付け、戦略の目標とすることで、経済活動のけん引効果を促し、大阪経済の底上げを図り、再生・成長につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 万博へのつながりや、大阪への期待も込めて是非設定して欲しい。 エコシステムの拠点形成もあり、大阪の再生・成長の柱として、是非目標を設定すべき。 創出件数は分かり易さの一方で、創出させるだけで良いのかという議論もある。 	〔内閣官房「成長戦略フォローアップ」〕 <ul style="list-style-type: none"> 企業価値又は時価総額が10億ドル以上となる、未上場ベンチャー企業（ユニコーン）又は上場ベンチャー企業を2025年度までに50社創出 	〔スタートアップ・エコシステム拠点形成計画〕 <ul style="list-style-type: none"> スタートアップ 創出数300社 大学発スタートアップ件数100社 	
雇用の再生創出	（目標値調整中）	<ul style="list-style-type: none"> コロナによる雇用情勢の悪化は深刻であり、雇用創出を直接把握できる新規就業者数を目標として設定し、コロナからの再生・成長をめざす指標の一つとして掲げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 失業を出さないようにする目標が必要 雇用を止めないことが重要 目標の設定理由の中で、雇用の多様性に関する視点を取り込むことを検討できないか。（取組の方向性で記載することでも良い） 	—	※雇用創出数は、労働力調査（統計課）における就業者数の対前年比増減で算出	
健康寿命	●2歳超延伸	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命は、万博のテーマいのち輝く未来社会のデザイン）に則したもの。 自立した生活に着目した指標。 府民生活（くらし）の基本であり、コロナ禍で関心が高まっている「健康」を測る指標として設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 2025年の大阪・関西万博のテーマを考えると必要な視点 	〔健康日本21（第二次）〕 <ul style="list-style-type: none"> 2040年までに健康寿命を男女とも3年以上延伸し、75歳以上とすることを目指す 	〔健康増進計画〕 <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸 2023年度：2歳以上延伸 	
府域魅力向上	●若年層転入超過率 →前年を上回る	<ul style="list-style-type: none"> 大阪の魅力や住みやすさ、働きやすさをはじめ、若年層にとっての府域魅力を測るため、若年層転入超過率を設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 府域への転入は大阪の魅力を測る観点で分かりやすく良い視点。 働きやすさと暮らしやすさの両立や20代後半の関西在住度といった視点が必要 若者を大阪に留め置くことだけに注力するのではなく、大阪以外を経験した人が、大阪に来てもらえることが生産性や活力向上につながるので重要。 ワーケーションというキーワードで、地域活性化や魅力づくりに繋がらないか。 	—	〔参考〕 <ul style="list-style-type: none"> 若年層転入超過率 （2018年実績）+0.421 （2019年実績）+0.678 	